

# KAKEHASHI

## 新小倉病院

- 1...リウマチ科増設のお知らせ  
& ドクター紹介
- 2...CT 装置の更新
- 3...東日本大震災 医療支援活動報告
- 5...看護部～認定看護師紹介～
- 6...ホームドクター
- 7...外来診療担当表  
/MAP・アクセス



2011

No.27



# リウマチ科増設のお知らせ&ドクター紹介

## 膠原病について

膠原病という呼び名は 1 つの病気の名前ではなく、一定の共通する特徴を有する疾患群の総称で、主に以下の 3 つの特徴を有します (図 1)。

- 1) 「結合組織疾患」皮膚、血管、筋肉、関節、内臓など全身の結合組織に主な病変が認められる。
- 2) 「リウマチ性疾患」骨や関節など運動器の痛みを伴う。
- 3) 「自己免疫疾患」(自分自身の組織を傷害する) 自己抗体が作られるなど免疫の異常が認められる。

膠原病患者の数については、最も多い関節リウマチの患者数は 70~100 万人程度 (有病率はおおよそ 150 人に 1 人、成人女性に限れば約 70 人に 1 人)、次に多い全身性エリテマトーデス (SLE) の患者数は 5 万人以上と推定されており、その他の膠原病・リウマチ性疾患、膠原病疑いの患者さんまで含めるとかなりの数に上ることが予想されています。当院ではリウマチ・膠原病およびその他の類縁疾患・免疫疾患 (表 1) について診療を行ないます。



← 図 1 膠原病の病態のイメージ

### 代表的疾患

関節リウマチ  
 全身性エリテマトーデス  
 全身性硬化症(強皮症)  
 皮膚筋炎/多発性筋炎  
 シェーグレン症候群  
 混合性結合組織病  
 ベーチェット病  
 血管炎症候群  
 成人発症スティル病  
 リウマチ性多発筋痛症  
 抗リン脂質抗体症候群  
 血清反応陰性脊椎関節症  
 他、サルコイドーシスなど

表 1

あかほし みつてる  
**赤星 光輝**



平成 23 年 6 月より赴任いたしました。  
リウマチ科を担当しています。  
院内で見かけましたら  
お気軽にお声をおかけ下さい。

## 膠原病の症状

総じて膠原病の臨床症状は多彩で、それぞれの病気で特徴的なものもありますが、いくつかの疾患で共通して認められる症状もあります (表 2)。初発・初期症状だけでは診断が困難なことも少なくなく、慎重に経過を観察しながら鑑別診断・最終診断を行う必要があります。

いくつかの膠原病が 1 人の患者さんに合併することもありますし、ある種の感染症、血液疾患、悪性腫瘍 (がん) などでも似たような症状をきたす場合がありますので適切な診断が必要とされます。関節痛や原因不明の発熱が持続する方などは一度ご相談いただければと思います。

### 代表的な症状

発熱(微熱~高熱)	息切れ・呼吸困難感
全身倦怠感	眼の充血・痛み・視力障害
関節(指)の腫れ・痛み・朝のこわばり	口内炎
筋肉痛・筋力低下	口腔内乾燥感
皮膚の紅斑・紫斑・潰瘍・皮下結節	リンパ節の腫れ
四肢の冷感・レイノー症状 (寒冷時に指先が白くなる)	浮腫(むくみ) しびれ感

表 2 膠原病でみられる代表的な臨床症状

## 膠原病の診断

関節リウマチ (RA) における関節破壊は発病後 2 年がもっとも顕著であり、関節の変形・破壊の進行 (図 2) を防止するために早期に診断し抗リウマチ薬治療を開始することが重要とされています。そのため従来のリウマトイド因子 (RF) に加え新たな血清マーカー (抗 CCP 抗体)、関節 MRI (図 3) や関節超音波検査 (図 4) などの画像評価も取り入れた新しい分類基準も発表されています。その他いくつかの膠原病についても、より精度の高い早期診断に向けた診断基準の提唱あるいは改訂が行われています。



図 2 関節リウマチに伴う関節の変形

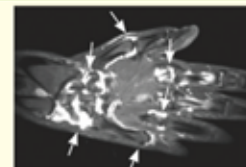


図 3 関節 MRI (滑膜炎に伴う滑膜肥厚)



図 4 関節超音波検査  
(2010/02/24「北海道新聞」より)

## 膠原病の治療

膠原病の治療、特に RA の治療は近年、飛躍的に進歩を遂げています。RA の病態に関わる炎症性サイトカインを阻害する TNF -  $\alpha$  阻害薬や IL - 6 阻害薬といった新しいリウマチ薬 (生物学的製剤) の開発・臨床応用により、RA の寛解・治癒を目指すことが現実的なものとなっています (図 5)。当院でもこれら最新の治療法を積極的に取り入れた診療を行っています。リウマチ以外の他の疾患についても現在、新規治療薬の研究開発・臨床試験が進行中のものもあり、今後の臨床応用が期待されています。

また膠原病・リウマチ疾患は、皮膚や関節・筋肉のみならず、肺、心臓、腎臓、消化器、血液、血管、神経、眼など全身のあらゆる臓器に障害を及ぼす可能性のある全身性疾患であるという特徴も有しておりますので、診療各科や近隣の病院との密な連携をはかり、各患者さんに合わせた総合的診療に尽力致します。



図 5 生物学的製剤による関節リウマチの治療 (点滴/皮下注射)



# CT装置の更新



2011年7月に最新型次世代マルチスライスCT装置 (Aquilion PRIME: 東芝) に更新されました。

今回導入された装置は160スライス(80列)マルチスライスCTで、高度先進医療においては、欠かせない診断装置です。



心臓冠状動脈



腹部動脈瘤 3D



肺 3D



腹部動脈瘤 MIP



冠状動脈 CPR

## 新装置 Aquilion PRIME の特徴

### 被ばく低減を実現

従来のCTに比べて高解像度(画像のノイズも低減)であるにも関わらず、被ばく線量を最大75%減らすことが可能になりました。

### ウルTRASピードヘリカルスキャン(超高速撮影)

最大で1秒間に16cmの撮影が可能になりました。また、高画質の画像が提供でき、画像作成時間も現行より10~25倍早くなり、検査時間が短縮し、より患者さんに優しい検査になりました。

### 心臓CT検査が可能

新装置で高速撮影、高画質撮影が可能となり、心臓CT検査が外来で施行できるようになりました。入院が必要な検査がCTにより外来で可能となりました。循環器内科にご相談ください。

### 大腸CT検査が可能

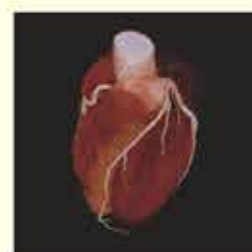
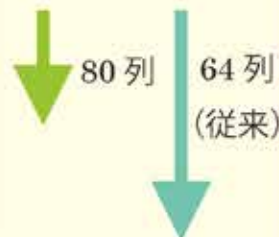
CT装置を使って大腸の内部を検査する方法です。大腸に気体を注入し、3次元画像として描出することで、大腸カメラで検査したような画像が得られます。痛みが少なく、大腸カメラでの検査をためらっている方にお勧めいたします。

### 新しい撮影機構

Dual Energy撮影、チルトヘリカル、ダブルスライス再構成(80列で160枚の画像作成)心電同期フラッシュスキャンなど最新の機構を搭載しています。

### 省エネ設計

電力回生システムを採用し、これまでは熱として排出されていた減速時のエネルギーを電力として再利用。高い省エネルギー性を達成しました。



これからも、新小倉病院は高度先進医療を患者さんのために行っていきます。





# 東日本大震災 医療支援活動報告



4月27日 朝  
新小倉病院を出発

4月29～30日 初日同様の行程で診療活動

5月1日 昼で診療活動を終え、次チームの  
虎ノ門病院へ引き継ぎ一関から東京へ  
(GW前半の最終日で所々大渋滞。  
約9時間かけて、夜遅く東京に到着)

5月2日 無事小倉に帰ってきました。

お昼 羽田空港到着

- ・陸路、東北自動車道で約6時間30分かけて宿舎のある岩手県一関市へ  
(東北自動車道は震災後復旧し、全線開通していましたが、北上するにつれ  
地震の爪痕が残り、仙台付近からは50km速度規制となっていました。)
- ・4月27日翌日からの活動に備えて就寝



4月28日  
朝 5:30 起床  
6:00 朝食  
6:30 宿舎を出発



夕方 PM5:00~

対策本部で各チームが活動報告を行い、連絡事項、  
現在被災地が抱えている問題（診療活動の方法、  
長期的な医師の確保）などが話し合われました。

1時間かけ気仙沼市医療対策本部へ



避難所となっている面瀬中学校（避難者 300名）

階上中学校（避難者 277人）

老健施設「恵風荘」の3か所で医療活動を行いました。

## 【遺体検案前の放射線サーベイの派遣を受けて】

新小倉病院 放射線科 笠井幸郎

4月上旬、警察庁より遺体サーベイ(放射線測定)の要請が厚労省を通じて日本放射線技師会にあり、私は第8次隊で福岡県放射線技師会からの代表として他院の先輩技師と2人で、5月14日～20日までの7日間福島県に行っていました。検案会場は相馬市、南相馬市の2箇所、二手に分かれて検案前のサーベイを行ないました。震災から2ヵ月後で、原発から半径10キロから20キロ圏内での搜索はひとまず落ち着いており、5月に入り半径10キロ圏内の搜索が始まりました。自衛隊・警察官の放射線被ばくが懸念されるようになり、搜索部隊も縮小されていきました。そのせいか行方不明者の発見も少なくなり、われわれが担当する時期には1日0人～3人程のご遺体の発見で、7日間で11人(2会場合わせて)の方々が発見されただけでした。(現在、自衛隊の搜索は中止され、警察の搜索のみになっています。)

ご遺体が検案所に運ばれてすぐに、私が放射線測定器で7箇所(頭・胸・腹・両手両足)を測定、その後警察官が除染洗浄を行い、もう1度放射性物質が洗い落とされているかと同じ箇所を測定し、安全な値になっていることを確かめて検視官・法医学の医師、歯科医師による検案作業が行われます。そのあと搬送者(警察官)や搬送車両の放射線測定を行い、放射線の安全性を確かめます。ご遺体の中には津波に衣服をとられ裸で見つかった方、携帯を首からぶら下げて発見された方など手がかりの違いが様々でした。最終的にはDNA判定を行なうため体の一部を採取されていました。検案後、となりにある安置所に運ばれ、身元確認の作業が続けられます。



2011年3月11日の東日本大震災で甚大な被害を受けた宮城県気仙沼市へ、国家公務員共済組合連合会(KKR)第10班として、4月27日～5月2日の約1週間、当院より私医師1名、看護師2名(河野香美、坪井紀美子)、薬剤師1名(木村龍夫)、KKR本部事務1名(高橋大輔)の計5名のチームで医療支援活動を行ってまいりました。

4月27日朝、新小倉病院を出発し、昼に羽田空港に到着。陸路、東北自動車道で東京都、埼玉県、栃木県、福島県、宮城県を通過し、約6時間30分かけて宿舎のある岩手県一関市へ向かいました。東北自動車道は震災後復旧し、全線開通していましたが、北上するにつれて地震の爪痕が残り、仙台付近からは50km速度規制となっていました。しかしそんな中、警察、自衛隊車両など多くの支援車両が被災地へ向かって走っていました。

4月27日PM8:00～前班の大手前病院(大阪)チームより診療状況などの申し送りを受け、翌日からの活動に備えて就寝しました。

4月28日朝5:30に起床し、6:00～朝食をとり、6:30に宿舎を出発、1時間かけ気仙沼市医療対策本部へ向かいました。対策本部では、全国各地の大学病院救命センター、各自治体DMATチーム、一般病院チームなど約15チームが毎朝と夕方ミーティングに参加し、気仙沼市で医療活動を行っていました。

私たちは避難所となっている面瀬中学校(避難者300名)、階上中学校(避難者277人)、老健施設「恵風荘」の3ヶ所で医療活動を行いました。

現地で移動中、津波の破壊力のすさまじさを実感しました。テレビで見た光景が目前にあり、道端には家がひっくり返り、船、タンクローリー車、大型バス、そして線路もすべて流されている状況でした。

避難所となっている体育館に入った時、震災後1ヶ月以上たってもダンボールで仕切られた中で生活する被災者の方々の目の当たりにし、言葉では表現できないような気持ちになりました。

避難所で受診される方々は、風邪症状、不眠症、血圧上昇、嘔吐下痢症などが主でした。不眠を訴える方は、家族を流され、家や仕事も失くし、1日のほとんどを体育館の天井を見て過ごしているなどの話を聞くと、何か力になれることはないだろうかと考えさせられるようなことが多々ありました。

「恵風荘」では肺炎や転倒された患者さんの診療などを行い、また入所者の方と敷地内で桜を見ながら散歩などをしました。

また「恵風荘」でカップラーメンや缶詰めなどの昼食をとり、午後からの避難所での診療へ向かいました。

夕方PM5:00～対策本部で各チームが活動報告を行い、連絡事項、現在被災地が抱えている問題(診療活動の方法、長期的な医師の確保)などが話し合われました。

4月29～30日も同様の行程で診療活動を行い、5月1日昼で診療活動を終え、次チームの虎ノ門病院へ引き継ぎを行いました。

5月1日はゴールデンウィーク前半の最終日で一関から東京までは所々大渋滞のため約9時間かけて、夜遅く東京に到着し、5月2日無事小倉に帰ってきました。

いまだ、津波の被害、そして福島原発の被害は深刻な状況で、10万人近くの人々が避難を続けています。

しかし、自然の流れは正確で、私たちが東北を訪れた際、桜が咲き誇り、避難所では花見が催されていました。これから被災地では元の生活を取り戻すため、大きな試練の場に立たされていると思います。それは被災地だけではなく、遠く九州の地でもそれぞれの立場で被災者の方々と心を共にし、被災地へ関心を持ち続けることが大事だと思っています。

この難局を必ず乗り越え、被災地に咲いた桜のように被災地の再生、復興がかなうと確信しています。

最後に大震災で亡くなられた方々のご冥福と被災された方々へ心からお見舞いを申し上げます。

新小倉病院 内科医 宮城 友豪

今回の要請を受け、技師の中でも賛否両論ありました。しかし、警察官をはじめ検案作業に携わる人々の放射線からの安全性を、われわれ放射線の専門家が確かめることで、作業をスムーズにし身元判明が1日でも1時間でも早くできるのではないかと、少しでも被災された方々のお手伝いができるのではないかとのお思いがあり参加しました。

原発事故によって、瓦礫の撤去や復興は遅々として進んでおらず、時間が過ぎるにつれて、行方不明者の捜索も困難になってきています。ひとりでも多くの方々が発見され、身元がわかるように願っています。

1週間を通し、粛々と作業ができたことに福島県警の方々に感謝し、被災して亡くなられた方々のご冥福をお祈りしたいと思います。







# 看護部～認定看護師紹介～

認定看護師とは、ある特定分野において6ヶ月間の研修を受けた後に審査に合格した看護師で、患者さんに対して良いケア・看護を提供するために、自らが熟練した看護技術を実践すると同時に、他の看護師や患者さんに指導を行ったり、相談に乗ったりする役割を担っています。当院では現在、以下の4分野、4名の認定看護師の活動により院内だけでなく、地域の看護の質向上に努めています。



## 【感染管理認定看護師】

2010年7月、日本看護協会認定の「感染管理認定看護師」の資格を取得いたしました。現在、院内の感染対策を中心に活動しております。

石原 佳子 感染予防に関わることを中心に、ご相談頂くことで地域住民の皆さまの健康維持に貢献したいと考えています。「手洗い教育」や「食中毒の予防」、「インフルエンザ予防」など、お気軽にご相談下さい。



## 【皮膚・排泄ケア認定看護師】

2011年7月、日本看護協会認定の「皮膚・排泄ケア認定看護師」の資格を取得いたしました。ストーマ（人工肛門）の造設や床ずれなどの創傷や失禁に伴って生じる問題に対して、

専門的な技術を用いてケアを行っていきます。スキンケアが基礎となり、健康を害した皮膚に対し、健康が取り戻せるように援助していきます。



## 【糖尿病看護認定看護師】

「糖尿病看護認定看護師」を2009年に取得しました。糖尿病の患者さんの生活に沿った療養指導や糖尿病看護に関するスタッフへの教育などを行って

富村 真 います。平成21年10月より「フットケア外来」を開設し、糖尿病患者の足病変の予防のためのアセスメントやケア・自己管理の指導を行っています。



## 【緩和ケア認定看護師】

はじめまして、今年6月より緩和ケア認定看護師として活動することになりました。

高木 陽子 緩和ケアとはがん患者さんや、その家族が直面する様々な苦痛を緩和し、生活の質を向上することが目的です。様々な問題や不安を一緒に考え、最期までその人らしく生きることを支援させていただきます。不安や疑問を感じたときはお声をおかけください。

## 【看護ミニ講座のお知らせ】

認定看護師により患者さん向けの生活に役立つミニ講座を開催しています。是非お立ち寄りください。

場所：健診センター 1階 待合室

日時：隔週水曜日 11:30～12:00 (30分)

※日程・テーマは変更になることがあります。

7月

6日 食中毒

20日 尿漏れケア

8月

3日 ジュースの豆知識

17日 感染対策

31日 皮膚のケア

9月

14日 防災（災害時の備え）

21日 防災（災害時の感染対策）

# ホームドクター



当院でご紹介する先生方は、当院の開放型病院制度（医院・クリニックの医師が当院において共同で診療ができる）の登録医になって頂いている先生方です。

地域の医療を担っている先生方と協力して、患者さんのお役に立てるよう日々努力いたしております。

## ふじおクリニック

登録医 藤尾 裕宣

TEL 093-653-4658

診療科 内科・呼吸器科・胃腸科・小児科・心療内科

FAX 093-653-4660

住所 北九州市小倉北区金鶏町5-22



## 赤司医院

登録医 赤司 隆裕

TEL 093-571-6051

診療科 内科

FAX 093-571-6092

住所 北九州市小倉北区新高田2-2-10



## いくの医院

登録医 生野 雅治

TEL 093-561-1152

診療科 内科・消化器科・胃腸科  
循環器科・呼吸器科・麻酔科

FAX 093-561-4186

住所 北九州市小倉北区中井3-17-23



## 西見整形外科医院

登録医 西見 文紀

TEL 093-562-1645

診療科 整形外科・リウマチ科・リハビリテーション科

FAX 093-562-1646

住所 北九州市小倉北区木町4-1-2

HP (PC) <http://www.7b.biglobe.ne.jp/~orthopia/index.html> (携帯) <http://www.7b.biglobe.ne.jp/%7eorthopia/i/>





# 外来診療担当表



【平成 23 年 7 月 1 日現在】

		月		火		水		木		金	
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
内科	総合内科	○				○	○	○		○	
	血液内科	○		○		○		○		○	
	消化器内科					○		○		○	
	循環器内科	○	○	○	○	9:00~10:00		○	○	○	
	SAS外来	9:00~11:30 14:00~16:00						14:00~16:00		14:30~16:00	
	リウマチ科			○		○		○			
	脳神経内科			○							
	消化器・内視鏡センター	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	胃腸透視	○		○		○		○		○	
	心工コー	○		○				○		○	
	腹部工コー	○		○		○		○		○	
乳房検査		○				○				○	
糖尿病センター	糖尿病代謝内科	○		○		○		○		○	
肝臓病センター	肝臓内科	○		○		○		○		○	
	肝臓外科	○						○			
呼吸器センター	呼吸器外科	予約再来	手術	○		手術	手術	○		○	手術
	呼吸器内科	○		○		○		○		○	
	(禁煙、咳・息切れ、 粉塵・アレルギー外来)									○	
	気管支鏡検査				○						○
外科		○	予約再来	○	手術	○		○	手術	○	予約再来
整形外科		○	総回診	○	手術	○	手術	○	○ 検査	○	手術
スポーツ整形外科		予約		予約		予約		予約	15:00~17:00		
骨粗鬆症センター		○		○		○		○			
脳神経外科		○	手術	○	予約再来	○	予約再来	○	予約再来	○	予約再来
皮膚科		○	予約再来	○	手術	○	手術	○	○	○	○
泌尿器科		○	予約検査	○	予約検査	○	予約検査	○	予約検査	○	手術
ハルンケア外来		15:00~16:00		15:00~16:00		15:00~16:00					
婦人科		○	予約検診 特殊再来	○	予約検診 特殊再来	○	予約検診 更年期再来	○	予約検診 特殊再来	○	予約検診 更年期再来
眼科		○	手術	○	特殊検査	○	特殊検査	○	特殊検査	○	特殊検査
歯科口腔外科		○	○	○	予約再来 手術	○	○	○	手術	○	○
放射線科			○		○		○		○		○
麻酔科			○		○		○		○		○

## MAP・アクセス



国家公務員共済組合連合会

### 新小倉病院

〒803-8505

北九州市小倉北区金田1丁目3番1号

TEL 093-571-1031 (代表)

FAX 093-591-0580 (地域医療連携室専用)

http://www.shin-kokura.gr.jp/

#### 各停留所・各駅からのアクセス

(バスご利用の場合)

- [1番] 砂津~黒崎間運行 金田2丁目下車 徒歩3分
- [28番] 金田又は金田1丁目新小倉病院前で下車 徒歩3分
- [138番] 北方方面から(都市高速)  
ゾレイスホール・ムープ前下車 徒歩4分
- [快速] 砂津方面から黒崎BC行き 金田下車 徒歩3分

(JRご利用の場合)

- [小倉駅] タクシー利用の場合は8分、バスで12分
- [西小倉駅] タクシー利用の場合は5分、バスで6分
- [南小倉駅] タクシー利用の場合は5分、バスで15分